

# 若手が語り合う

JA全農山形  
県青協

同世代で意見交換

【全農山形】JA全農山形と山形県農協青年組織協議会は6日、山形市の県JAビルで、若手同士の情報交換会を初めて開いた。両団体から約30人が出席。「山形の農業に必要なもの」をテーマに意見を交わした。

2月にJA全農山形が開いた「元気な産地づく

りミーティング」がきっかけ。これまでJA全農山形と県青協が会議の場で顔を合わせてきたが若手職員と話す場がなかったことから、県青協の渡部一敏会長が「将来を見据え、同世代と意見交換を試してみたい」と提案した。

会合では「生産や流通、消費それぞれの課題を共有し、一体感のある取り組みが必要」「もうかる農業をJAにリードしてもらいたい」などの意見が出た。「女性の意見を取り入れたワークショップの開催や女子会を開いてみてはどうか」などの提案もあった。